

JISS

2011



[特集]

JISSにおける低酸素トレーニング

JISS開所から10年、

低酸素トレーニングの研究実績と各競技団体へのサポートを紹介

平成23年度スポーツ振興助成 選手・指導者スポーツ活動助成 助成対象者認定式

「平成23年度スポーツ振興助成 選手・指導者スポーツ活動助成 助成対象者認定式」を7月21日(木)に味の素ナショナルトレーニングセンターで開催しました。

「選手・指導者スポーツ活動助成」とはオリンピック日本代表選手等、我が国における優秀な選手及び指導者等が行うスポーツ活動等に対して助成を行うことにより、安心してスポーツ活動に打ち込めるようにすることを目的としています。

この認定式はスポーツ振興基金助成金の意義を広く周知するとともに、日本オリンピック委員会から推薦されたアスリート(エリートA、エリートB、ユースエリート)及びその指導者に対し、自身の競技活動が国民の支援を受けて行われていることを改めて認識していただくことを目的としています。今年度はアスリート407名、指導者207名、計614名(4月1日現在)が交付決定されました。

認定式では助成対象区分の各代表者(エリートA・柔道の穴井隆将選手、エリートB・体操の田中理恵選手、ユースエリート・卓球の石川梨良選手、指導者・レスリングの伊藤広道氏)にそれぞれ日本スポーツ振興センター小野理事長から認定証が授与された後、被認定者を代表して、陸上競技の村上幸史選手が来年のロンドンオリンピックに向けての決意を述べられました。

また、認定式直前にFIFA女子ワールドカップで優勝を成し遂げた「なでしこジャパン」のメンバーから、GKの山郷のぞみ選手、DFの矢野喬子選手が出席されました。注目度の高さから多数のメディアに取り上げられたことで、本助成金がより広く認知される機会となりました。

今後の世界選手権やロンドンオリンピックでは多くの認定選手が活躍されることを期待しています。

最後になりますが、認定式開催にあたりご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(スポーツ振興事業部助成課)

代表者集合写真

体操田中選手(エリートB代表)

陸上村上選手(被認定者代表)

柔道穴井選手(エリートA代表)

INFORMATION

東日本大震災緊急復興支援事業

「スポーツ振興くじ助成」総額7.1億円の配分を決定

独立行政法人日本スポーツ振興センターが行うスポーツ振興くじ助成事業において、東日本大震災の被災地の復旧・復興支援に関する緊急復興支援事業として、総額7.1億円の配分を行うことを決定しました。

被災した5つのJリーグクラブ(仙台、鹿島、水戸、栃木、大宮)のホームスタジアム復旧に対して約3.8億円の助成を行います。

また、被災地の子どもたちの「心のケア」を支援すべく、総額約3.3億円の配分を行います。すでに実施されたプロジェクトもあり、今後も継続的に被災地支援を行っていきます。

Shin-ichiro KANEKO / J LEAGUE SOCCER KING

Jリーグホームスタジアム緊急復旧施設整備助成

助成団体	支援スタジアム	配分額
宮城県仙台市	ユアテックスタジアム仙台	78,016,000円
茨城県	県立カシマサッカースタジアム	100,000,000円
茨城県水戸市	ケーズデンキスタジアム水戸	100,000,000円
栃木県	栃木県グリーンスタジアム	100,000,000円
埼玉県さいたま市	NACK5スタジアム大宮	976,000円
		計 378,992,000円

スポーツによる被災地の子どもたちの心のケア活動等助成

助成団体	助成事業名	配分額
公益財団法人	①スポーツこころのプロジェクト「笑顔の教室」	197,257,000円
日本体育協会	②スポーツ用具等特別支援事業	50,000,000円
	③ウォームアップ・ジャパンin東北	21,067,000円
公益財団法人	④「がんばれ! ニッポン」プロジェクト	35,000,000円
日本オリンピック委員会		
公益財団法人	⑤レクリエーション活動を通じた被災地の子ども・高齢者支援活動	15,816,000円
日本レクリエーション協会		
財団法人	⑥障害者スポーツ被災地復興活動事業	9,974,000円
日本障害者スポーツ協会		
		計 329,114,000円